

# AiraView

Aira city public information

市報あいら

2013  
1

県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり

# 迎春

亥 子 丑  
戌 卯 辰  
酉 申 巳  
申 未 午



ヘビは縁起が良い

ヘビを神として崇める風習が世界各地に残っています。

日本では弁財天の使いとされ、田畠を荒らすねずみを食べてくれることから豊穣の神、雨の恵みをもたらすことから天候の神として有名です。

また、ヘビの彫像や財布などを持つと財産が増えるともいわれています。

安全・安心で豊かな食文化のまちを目指して  
**新春座談 “食とまちづくり”**

# 2013 巳年の決意



玉利道満  
議長

Tamari Michimaro

笹山義弘  
市長

Sasayama Yoshihiro



## 「県内一くらしやすいまちづくり」の具現化を進める

新年明けましておめでとうござ  
います。

市民の皆様には、夢と希望に満  
ちた平成25年の新春を、健やかに  
お迎えのこととお慶びを申し上げ  
ます。また、昨年中は、市政各般  
にわたり深いご理解とご協力を賜  
り、心から感謝申し上げます。

昨年を顧みますと、1月に野田  
が、東日本大震災からの復興、税  
と社会保障制度の改革やエネル  
ギー問題、尖閣諸島や竹島の領土  
問題など、我が国の将来に向けた  
大きな課題が山積する中、年末に  
行われた衆議院議員総選挙におけ  
る国民の審判は、政権交代という  
ものでした。

この選挙において、政治に期待  
する項目として第一に挙げられた  
のは、景気・雇用対策です。近く  
補正予算が組まれるものと考えて  
いますが、早急な対応が図られる  
ことを願っています。

このように政治・経済が混迷を  
続ける中につけて、世界一の高さ  
を誇る東京スカイツリーが5月に  
開業し、7月に開催されたロンド  
ンオリンピックでは、水泳や体操

競技、女子サッカー「なでしこジャ  
パン」など、日本選手の活躍が光  
りました。また、10月には、iP  
S細胞（人工多能性幹細胞）を開  
発した京都大学の中山伸弥教授に  
ノーベル医学・生理学賞の授与が  
決まり、沈みがちだった日本国民  
に、力と夢と勇気を与える大変う  
れしい出来事となりました。

今春、姶良市は、4年目を迎  
えます。  
本市の盤石な礎は、一歩ずつで  
すが着実にその歩みを進めつつあ  
ると自負しています。

今年は、第一次総合計画の前期  
計画期間の集大成に向けた中間年  
でもありますので、まちづくりの  
基本理念である「県央の良さを活  
かした、県内一くらしやすいまち  
づくり」の具現化に向けた諸事業  
を、積極的に進めてまいります。  
市民の皆様には、より一層のご  
支援とご協力を賜りますようお願  
い申し上げますと共に、皆様のご  
健勝とご多幸を心からお祈り申し  
上げまして、新春のごあいさつと  
いたします。

姶良市長 笹山義弘

## 創意工夫を重ね、 市民の声を施策に反映させる

新年あけましておめでとうござ  
います。

皆様におかれましては、健やか  
な新春をお迎えのことと存じ、お  
慶び申し上げます。本年が市民の  
皆様の一人一人にとって素晴らしい  
年となりますよう、心からお祈  
り申し上げます。

昨年は、九州北部を中心に、記  
録的な豪雨に見舞われ、姶良市に  
おいても、大雨による被害が発生  
しました。また、東日本大震災の  
復興にむけて、懸命の努力が注が  
れましたが、未だ、なお課題が山  
積しております。自然災害のもたら  
す脅威を深く感じさせられた年  
でもありました。一刻も早く被災  
された皆様の生活再建と復旧を願  
うものです。

このようなか、高さ634メー  
トルを誇る世界一の東京スカイツ  
リーが完成したことや、ノーベル  
医学生理学賞を山中伸弥教授が受  
賞されるなど、日本の誇りと名誉  
を高めるニュースもありました。

姶良市も合併後3年近くを経過  
し、(仮称)松原小学校の新設設計、  
中山間地域への移住定住促進条例

姶良市議会議長 玉利道満

の制定等をはじめ、前期戦略プロ  
ジェクトに位置づけられた多くの  
施策が姿を見せつつあります。

議会におきましては、合併後、  
議会はどのようにあるべきかにつ  
いて検討を重ね、3月に議会基本  
条例を制定しました。目指すところは、議会と議員活動を活発化し、  
市民の皆様の負託に応えるとともに  
に、開かれた議会、市民参加の議  
会の実現にあります。その一環と  
して昨年12月に3回の議会報告会  
を開催し、皆様から貴重な意見、  
ご提言をいただきました。

私ども議会といいたしましては、  
議員は常に市民の中にあり、市民  
の声を施策に反映させ、より豊か  
な住みよいまちづくりを目指して  
創意工夫を重ね、市民のご期待に  
応えるよう決意を新たにしており  
ます。

新しい年を迎えるに当たり、一  
層のご支援・ご協力を賜りますよ  
う、心からお願い申し上げまして  
新年のごあいさつといたします。



**今村 君雄** (いまむら きみお)

始良有機部会 部会長

30年前に有機農業を始め、現在では有機ほ場3.5ha、水田7haで営農を行っている。有機野菜はJAあいらを通じて、県内外や学校給食などに出荷している。また、米や野菜づくりを親子で学ぶ“畑の学校”を行い、食育や環境教育の活動も精力的に行っている。

#### 【始良有機部会】

22人の部会員がそれぞれ有機JASの認証を取得している。JAあいら西部営農センターに事務所をおき活動している。有機野菜や米の生産だけではなく、地産地消も推進し、交流しながらの販売にも力をいれている。

けてご当地グルメとして発表しました。これからは、食という部分でまちおこしの活動をしていきたいと思っています。

ために貢献できているのではと思います。ために貢献できているのではと思います。

#### 今村

始良有機部会の今村です。

個人的には農薬と化学肥料を使わない有機農業をはじめて30年以上になります。

機野菜・米の売上は県外7割、

県内3割という感じです。

有機野菜は高いというイメージがあるんですが、私たちは年中一緒に価格でがんばっています。

あと交流も多くて、月に4、

5回行っています。交流とい

うのは顔の見える関係とい

うことで、消費者と生産者が見

える関係を作りながらの交流、

もうひとつは教育ですね。子

どたちに農業の良さ、在り

方、難しさなどを教えていま

す。子どもたちに自分で種をまいて育てて食べてという状況を作りたいという思いがあります。ただ、ひとつ問題があります。まだ、どこでも一緒なんですが高齢化が進んでいて、地域の後継者がなかなかいないということです。若い人はいっぱいいるけど、なかなか農業に取り組む人がいない。農業を始めたその後が続かなくてやめる人が多くなってきたという状況があります。

川野 始良市学校教諭等協議会の川野です。協議会は、市内の中養教諭8人で構成されています。私は加治木小学校に所属し、加治木学校給食センターに勤務しており、栄養

教諭2人で、加治木地区の幼稚園、小・中学校の2150

食の献立作成や各学校の食育指導を行っています。

献立作成は栄養素をバラン

ス良く取り入れ、地元の野菜

やお米を使うようにしていま

す。子どもたちが献立表を見

て、「今日の給食はなんだろ

う」「楽しみだな」と思って

くれるようなメニューを取り

入れています。また、食育の

指導では、授業の中でバラン

スの良い食事の話や、野菜を

作っている地元の生産者の話

などを通して、食に興味を

好きになつてもらうことを第

一に考えています。

加治木学校給食センターの取り組みとしては、平成17年度から継続している「地元の食を考える日」を毎月19日、食育の日に設定して、地元産の野菜やお米などを給食に取り入れ、食材や生産者が分かれる資料を各学校に配布し、子どもたちに紹介しています。12月は加治木地区のヒノヒカリ掛け干し米「田の神さあ米」や、冬至用に加治木の楠原地区で採れたかぼちゃを133キログラム使って、かぼちゃ

のうま煮を作りました。

市長 嘉さん、それでお話

いただきました。西堂路さん

のお話を聞いて、まさに地域

のかたがたが年金の他にお孫

さんのお小遣いづくりにお仕

事をされること、すごくいい

話だなと思いました。今、く

すぐす館が順調に運営されて

いますので近い将来、駐車場

を広げるような計画をしてい

ます。そうなるとお客様が

また増えると思いますので、

ぜひがんばってください。

古城さんのところは男性料

理教室もされているんですね。

この前、テレビで定年を機に

お父さんが昼食を当番で作る

という、それが夫婦間で非常

に好評だという話がありまし

た。夫婦でも、話題が途切れ

ますけど、食を通じて夫婦の

会話が生まれるというのはと

てもいいことですね。

今村さんの有機の売り上げ

が県外で7割以上ということ

でした。したが、これはまさに皆さ

ーの歴史、努力の成果ですね。

子どもさんの病気の関係など

で、どうしても有機の野菜や

米じゃないといけないという

かたもいらっしゃるそうで、

いします。



# 新春座談 2013

今年4年目を迎える始良市。「県央の良さを活かした、県内一くらしやすいまちづくり」を基本理念に施策が進められています。

昨年12月に加音ホールで開催された「あいらん家うまいもんフェスタ2012」には、市内外から6万3千人の方が訪れ、始良市のご当地グルメをはじめ各地の名だたるグルメを味わいました。

今回は、さまざまな立場で“食”に関する仕事をされている団体（始良有機部会、始良市食生活改善推進委員会、始良市学校栄養教諭等協議会、㈲蒲生農産加工、あいらん家うまいもんプロジェクト実行委員会）を代表して出席していただいた皆さんと笹山義弘市長が和やかな雰囲気の中、“食”をテーマに始良市のまちづくりについて語り合いました。（本文中は敬称略。座談会は、あいらスウィーツCAFEら・びゅーで行いました。）

**市長** 「市報あいらの新年号の企画である新春対談は今回で3回目になります。一昨年が高校生と始良市の現在と未来を語り、そして昨年がまちの状態になるなど、観光面がたと対談をさせていただきました。そして、今年のテーマは「食」です。

今年は重富海岸が霧島錦江国立公園に指定され、市内周遊のあいらびゅー号が予約待ち好評を博しています。そして、12月1日・2日に開催したあいらん家うまいもんフェスタ2012は予想を大きく上回る6万人を超えるかたがたにおりでいただきました。そのなかで、始良市のメニューとしてアゴ肉がデビューし、高い評価を得ました。

今回は、まちおこし、市民の安全安心の意味で、食を通してアゴ肉がデビューし、高い評価を得ました。

今回は、はじめて皆さんの所属している団体の安全安心の意味で、食を通して食に関係するお仕事をされている皆さんからご意見、ご提案を伺いたいとあります。よろしくお願ひします。

今年は、はじめて皆さんの所属している団体の安全安心の意味で、食を通して食に関係するお仕事をされている皆さんからご意見、ご提案を伺いたいとあります。よろしくお願ひします。

主な活動としては、親子食育事業やさまざまな年代層の料理教室、「健康がごしま21」の普及・啓発事業などを行っています。料理教室を開くことが多いのですが、そのなかで、健康について皆さんに幅広く啓発活動を行っています。

古城 始良市食生活改善推進委員会の古城です。「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、地域の健康づくりや食生活改善のためのボランティア活動を行っています。



**西堂路 美鈴** (にしどうじ みすず)

有限会社蒲生農産加工 取締役

平成17年から有限会社蒲生農産加工を設立し、農産加工品の製造販売を行い、蒲生の恵み協同組合理事を務める。ふるさとチャレンジャーの受け入れや蒲生高校で郷土料理を教えるなど、食と技の伝承の活動にも取り組む。

**【有限会社蒲生農産加工】**  
地域産物の有効活用、地域の活性化、食と技の伝承を目的に活動を行う。地域の産物を使い、農産加工品を製造し、くすくす館をはじめ、地域で販売している。  
また、カモコレなどにおいてもイベントを企画し食と技の伝承を行っている。

**川野** 寒い日にもかかわらず、大盛況でしたね。食に関する関心が深いことを物語つていて、ぜひ来年も計画してほしい

**司会** 最後に、うまいもんフェスタの感想、それぞれの団体の今後の展望などのお考えをお話ください。

**川野** まず人の多さに驚きました。食に関して皆さんが強い関心を持っていることが分

くすくす館をお借りして、共同でそれぞれの地域の特産品を販売する予定です。

**須内** アゴ肉ステーキを市内の皆様にとつては再認識というかたちで、ご当地グルメについての紹介していただきたいですね。そして、ぼくらが市外に始良市をアピールする武器、材料にしていきたいと思っているんです。そのときに、僕たちはそのアゴ肉ステーキを売りに行くんじゃなくて始良市を売りに行くんです。そのときに始良市つて一体どういうところなのかということを声高に叫んでいくつもりですけど、やはり始良市は県の中心にある

安全安心な食材や農産加工品などを扱う店舗を市内に出せないか検討しています。川野さんの給食のお話でしたが、毎月、食を考える指導をされているのはとてもいいことですね。

須内さんのところは、この前アゴ肉ステーキが大好評で、雨の中にも関わらずたくさん並んでいただけでうれしかったなと思っていました。ぜひ第2段、第3弾を期待します。よろしくお願ひします。

**司会** 次に始良で自慢できることや課題と思わることなどありましたらお話ください。



**古城 るり子** (ふるじょう るりこ)

始良市食生活改善推進員協議会 会長

鹿児島市の栄養教室終了後、食生活改善推進員となりボランティア活動を行う。平成6年から始良の食生活改善推進員として食に関するボランティア活動を続けている。平成16年に食生活アドバイザーの資格を取得し、食生活改善推進員の活動に役立っている。

**【始良市食生活改善推進員協議会】**  
現在、53人の推進員が「私たちの健康は私たちの手で」を合言葉に、地域の健康づくりや食生活改善のためのボランティア活動を行っている。年間50~60回ほどの料理教室を行うとともに、推進員の知識や技術向上のため、定期研修会を実施している。

**川野** 蒲生地区と始良地区で

**今村** この始良という地域は

有機をしている人が非常に多くあります。市内には加工グループが作る加工品が多いのですが、使うやすいですね。

今、私たちの栄養教諭等協議会では、バラエティに富んだ献立を立てたり、食物アレルギーの子どものために、市内で共通したアレルギー対応ができるよう、協議をしたりしているところです。

は学校給食で有機野菜をたくさん使っているそうです。加工木地区では隈原人参や農産加工の人参ドレッシング、さくらの会の豆腐などを使って給食を提供しています。常に工夫して、給食でも地元の食材を取り入れるようにしていきます。市内には加工グループが取り入れるようになります。

く使いやすいですね。

は学校給食で有機野菜をたくさん使っているそうです。加工木地区では隈原人参や農産加工の人参ドレッシング、さくらの会の豆腐などを使って給食を提供しています。常に工夫して、給食でも地元の食材を取り入れるようになります。市内には加工グループが取り入れるようになります。

**西堂路** 加工グループが各地

区にあることが自慢になります。市内に全部で4つある

有機をはじめて30年が経過し、有機がここまで広がってきました。有機の場合は自分たちでお客さんとの交流を大切にしながら販売するなど、いろんなことに取り組んできました。

有機をはじめで30年が経過し、有機がここまで広がってきました。有機の場合は自分たちでお客さんとの交流を大切にしながら販売するなど、いろんなことに取り組んできました。

ひとつの地域でこれだけ取り組んでいるところは、なかなかありません。ただ、生産面が小さいため、宣伝が生かしきれていないのが現状です。また、地元の人たちにもたくさん供給ができるべきだという思いもあります。



**川野 明由香** (かわの あゆか)

始良市学校栄養教諭等協議会

加治木小学校に勤務し、栄養教諭として、加治木地区の幼稚園・小学校・中学校の献立作成や各学校の食に関する指導を行っている。子どもたちがわくわくするような献立を考え、成長期に必要な栄養素をバランスよく取り入れ、生きた食の教材を目指す。

**【始良市学校栄養教諭等協議会】**  
栄養教諭8人で構成。蒲生地区と加治木地区は給食センター方式で始良地区は単独校方式。毎月1回栄養教諭不在校の献立作成や食物アレルギー対応や食に関する指導等について協議を進め、情報交換や共有を図る。

ということは一番大きいですよね、交通の便が空からも陸からもいいということ。口で説明するときも鹿児島の真ん中にありますといつたら分かりやすいし、桜島の真上にあります。それが始良の自慢なんじゃないかなと思います。

それと第2弾、第3弾を考えていくときに、始良市独特の特産物を聞かれたらなかなか答えられないんですけど、それが逆に強みなんじゃないかなと思うんです。新しいものを生み出すときは、そこを逆手にとって、とりあえずアゴ肉は出すことができたので、第2弾、第3弾は新しいものにトライしていくかななど思っています。

私は、産物は何かと聞かれたときには、何でもあるからどれかひとつと言えないで「何もある」と言つています。料理教室をすると、日々始良の食材を使って料理の献立とかを作っているんですけど、市内のお店で本当に何でも揃いますので、参加者の皆さんにも食材は四季折々あふれていますよと言っています。

季節の元気というか、地域の土・空気からできている元の産物を食べるという事が、同じ空気を吸つて生きている私たちも元気になり、健康につながるのでは、と思つてます。自慢といつたらこういふことでしようか。

始良のアゴ肉ステーキは、柔らかくて子どもから高齢者まで食べられると思いました。給食でも工夫して献立に取り入れられたら、食への興味や関心もさらに高まるのではないかと思います。

いとります。

始良のアゴ肉ステーキが1日目の最初から最後までほぼずっとと作り作つていただきたのは、皆さんが始良のご当地グルメというものに感心を持っていただいたといふか、それほど待ち望んでいたものだったのかなと思いました。今度は僕たちがそれをもって始良をどれだけアピールできるかという使命感のようなを感じています。

うまいもんフェスタで、アゴ肉ステーキという大きなのがあって、それは簡単に出れるものではないんですが、いつの日か、出場を果たして始良市アピールしたいと思います。

県内外各地の珍しい食材を味わえたのですが、まだ食べてみたい料理もあったので、ぜひ来年も計画してほしい

今までの多さに驚きました。食に関して皆さんが強い関心を持っていることが分

フェスタでの人の集まりかたや行列のできかたを考えると知名度がものをいうことを実感できました。有機農業をしっかりと確立できれば、有機農業の先進のまちとして、有機農業を前面に押し出した安全・安心な食べ物を提供するまちとして知名度も上げられるのではないか。

また、始良を売り出すのは非常にいいと思うんですが、漢字で書くとみんな読めないんですよ。東京大阪に行くとほとんど読めません。全国的に珍しい地名で、始良カルデラというのは世界的に有名なんですね。だから自分たちも有機野菜の袋にはひらがなで「あいら」と表記しています。

古城 私も、今村さんたちの野菜ボックスをとっているんですが、今の時期ではお餅としめ縄が入っていたり、四季折々に何かが入っているのが楽しみで、すごくいいと思います。

フェスタでは、焼そばや唐揚げなど身近なメニューで、全国的に有名なご当地グルメ



ニューもありました。地域での食文化の違いがあるのかかもしれませんね。

メニュー開発をする場合は、地域の食文化のことも考える必要があります。昨年に引き続き、今年も市主な目的は健康づくり・地産地消・食文化の継承等なのですが、年間50回以上の料理教室を企画・運営しているので、地元の食材で何か新しいものを創りだすことには協力できるのではないかでしょうか。

西堂路 食を考える時、メニュー開発ということは欠かせませんね。フェスタは人出が多く、評判の店には長蛇の列ができてきました。私もおいしくいただきましたが、思っていたほどでもないメ

ニューもありました。地域での食文化の違いがあるのかかもしれませんね。

メニュー開発をする場合は、地域の食文化のことも考える必要があります。昨年に引き続き、今年も市主な目的は健康づくり・地産地消・食文化の継承等なのですが、年間50回以上の料理教室を企画・運営しているので、地元の食材で何か新しいものを創りだすことには協力できるのではないかでしょうか。

西堂路 食を考える時、メニュー開発ということは欠かせませんね。フェスタは人出が多く、評判の店には長蛇の列ができてきました。私もおいしくいただきましたが、思っていたほどでもないメ

ニューもありました。地域での食文化の違いがあるのかかもしれませんね。

メニュー開発をする場合は、地域の食文化のことも考える必要があります。昨年に引き続き、今年も市主な目的は健康づくり・地産地消・食文化の継承等なのですが、年間50回以上の料理教室を企画・運営しているので、地元の食材で何か新しいものを創りだすことには協力できるのではないかでしょうか。

ちょっとと入らしてという、そしていつたり来たりできるそんな町がいいですね。

市長 先日、大河ドラマの誘致のために鹿児島大学の原口泉先生などと一緒にNHKに行ってきたんですが、皆さん、あいらびゆー号のことやうまいもんフェスタのことを知つていらっしゃるんですね。そのなかで、これからは観光では体験型が伸びていくといふことをお聞きしました。田の神とか石積みの田んぼとかは簡単に作れませんから、すばらしい財産なんですね。何もない田舎で2、3日まねごとでいいので農業の体験をするとかお味噌を作るとか、そんな旅行プランを企画して、始

良市全体で体験的に食べてもらうとか野菜をつくるとか、一体的にするとすごくいいんじゃないかなと思つているんです。皆さん経験を生かして、どんどん提案していただきたいと思います。

古城 今は、畑の学校という体験農場をやっていますが、農業に触れた事のない人に農業の面白さや難しさを知つてもらおうと、そういうことをお聞きしました。田の神とか石積みの田んぼとかは簡単に作れませんから、すばらしい財産なんですね。何もない田舎で2、3日まねごとでいいので農業の体験をするとかお味噌を作るとか、そんな旅行プランを企画して、始

良市全体で体験的に食べてもらうとか野菜をつくるとか、一体的にするとすごくいいんじゃないかなと思つているんです。皆さん経験を生かして、どんどん提案していただきたいと思います。

古城 今は、畑の学校という体験農場をやっていますが、農業に触れた事のない人に農業の面白さや難しさを知つてもらおうと、そういうことをお聞きしました。田の神とか石積みの田んぼとかは簡単に作れませんから、すばらしい財産なんですね。何もない田舎で2、3日まねごとでいいので農業の体験をするとかお味噌を作るとか、そんな旅行プランを企画して、始

古城 私も、今村さんたちの野菜ボックスをとっているんですが、今の時期ではお餅としめ縄が入っていたり、四季折々に何かが入っているのが楽しみで、すごくいいと思います。

古城 地元に住んでいるといつでも負けないものがあるはずです。始良市限定うまいもんを掘り起こして、全国に発信していく必要がありますね。

古城 地元に住んでいるといつでも負けないものがあるはずです。始良市限定うまいもんを掘り起こして、全国に発信していく必要がありますね。

## 須内 康文 (すのうち やすふみ)

あいらん家うまいもんプロジェクト実行委員長  
学生時代から20代の頃はバンドに熱中。  
30歳から実家の飲食店「Ajidokoro季菜」の経営に参加する。平成23年に発足した  
「あいらん家うまいもんプロジェクト委員会」のリーダーとして始良のご当地グルメの開発を進める。

【あいらん家うまいもんプロジェクト委員会】  
市内の飲食店を経営する事業所を中心構成された「食による始良市のまちおこし」を志す団体。新ご当地グルメ「あいらアゴ肉ステーキ」を市内外、県内外に売り込むことでの始良市のPR活動を展開。また、市内のグルメイベントやグルメ従事者同士のネットワークづくりを目指す。

古城 地元の人がここにこして人は良くて優しいし、食はおいしいし、自然がいっぱい残っているというまちになるんじゃないかな。

古城 地元の人がここにこしては楽しく暮らしていてそこに観光の人がちょこっと来てみんなにこしていて地元の人

古城 地元の人がここにこしては楽しく暮らしていてそこに観光の人がちょこっと来てみんなにこしていて地元の人

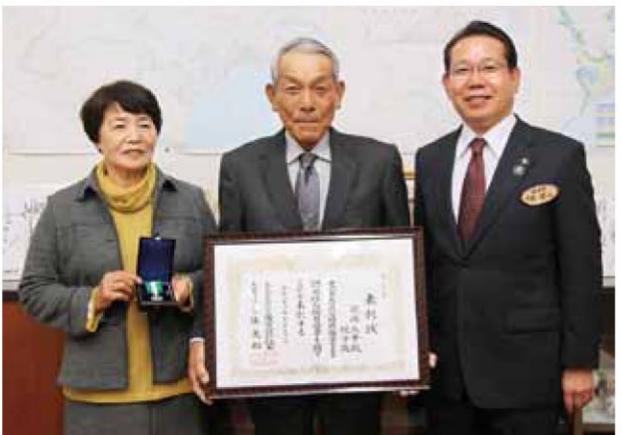


## 訓練用緊急地震速報をJアラートで受信、児童らが訓練

### ●12月3日 市内

全国瞬時警報システム（Jアラート）で受信した訓練用緊急地震速報を防災行政無線や防災・地域情報メールを利用し市民の皆さんに伝達する訓練が行われました。

建昌小学校では、地震速報の伝達を受け、児童らが机の下に隠れるなどの退避訓練を行いました。



## 藏満ご夫妻が緑白綬有功章を受章

### ●11月26日 市役所本庁

藏満久幸さん、悦子さん（三拾町）ご夫妻が、公益社団法人大日本農会から農事功績者として、緑白綬有功章を受章しました。藏満さんは、これまで有機栽培による環境保全型農業を先駆けて取り組まれ、有機農家組織の活性化や技術確立に尽力されました。また、有機農業を目指す若者への研修など後継者育成にも貢献されています。



## あいらふるさと祭り

### ●12月9日 始良公民館

重富中学校吹奏楽部による演奏や夢飛行プロジェクトによるミュージカルダンスなどがステージで披露されました。また、子ども餅つきや振る舞い餅、お楽しみ抽選会などが行われました。



## 市立図書館ボランティアグループ「あいあい」優良読書グループ表彰

### ●11月27日 加治木総合支所

「おはなし会」や「おはなしだっこ会」を行い、子どもと本をつなぐ活動を長年にわたって取り組んでこられた市立図書館ボランティアグループ「あいあい」が、11月15日に開催された鹿児島県図書館大会において、優良読書グループとして表彰されました。

（写真左側の3人目から）

肝付いづみさん、伊藤啓子さん、土橋悦子さん



毎年12月10日から16日までの期間を「北朝鮮人権侵害問題啓発週間」と定め、国、県及び各市町村ではさまざまな事業を実施しています。

また、本年は、北朝鮮当局が日本人を拉致していたことを認めて謝罪し、5人の拉致被害者が帰国してから10年目となる節目の年でもあります。

本市には、拉致被害者である増元るみ子さんのご家族が在住されています。今なお、消息の分かっていないいるみ子さんを思い、残されたご家族はいたたまれない日々を送っています。

市では、この節目の年の啓発週間に合わせて、拉致問題に関する市民の関心と

講演では、増元照明さんが「私たち絶対にあきらめない。この想いが日本中に広がれば、日本は二度と拉致被害が起こらない強い國になっていくと思います。その為には、皆さんの協力が必要なんです」と拉致被害者全員の救出に向けた活動への協力を訴えました。

また、俊子さんは「姉の過去は取り戻せないが、これ以上の未来は奪わないではない」と話されました。

当日は、約400人が参加され、拉致問題啓発アニ



## Pick Up 01

### 「拉致問題を考えるみんなの集い」 増元夫妻が講演

認識をより一層深めようと、中央図書館で「北朝鮮による拉致被害者に関する写真パネル展」を開催しました。

また期間最終日の12月16日には、始良公民館において、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会と支援する会鹿児島の協力により「拉致問題を考えるみんなの集い」を開催し、北朝鮮による拉致被害者家族連絡会事務局長の増元照明さん俊子さんご夫

妻が、講演を行いました。講演では、増元照明さんが「私たち絶対にあきらめない。この想いが日本中に広がれば、日本は二度と拉致被害が起こらない強い國になっていくと思います。その為には、皆さんの協力が必要なんです」と拉致被害者全員の救出に向けた活動への協力を訴えました。

また、俊子さんは「姉の過去は取り戻せないが、これ以上の未来は奪わないではない」と話されました。

当日は、約400人が参加され、拉致問題啓発アニ



12月11日～15日に開催された北朝鮮による拉致被害者に関する写真パネル展の様子

## Pick Up 02

### 市内で交通死亡事故が多発



12月7日、始良警察署において、交通事故抑止緊急対策会議が開かれました。これは、市内で今年8件30日に発生した交通事故（11月30日に発生した交通事故を含む、昨年比3人増）が発生したこと重く受け、開催されたもので、市長をはじめ、始良警察署長、国や県の道路管理者、老人クラブの皆さん等が参加して、事故対策に向けたさまざま意見交換が行われました。

県下では死亡事故を含め交通人身事故が減少傾向にある中、本市においては人身事故、負傷者数とも増加

12月10日、年末・年始特別警戒パトロール隊出発式に引き続き、国道10号にて、安全運転を呼び掛ける様子

皆さん、緊張感をもつた運転に心がけ、「交差点での確実な安全確認」、「早めのライト点灯」などを徹底し、夕暮れ時や夜間の交通事故に遭わないよう命な救出活動などを知り、胸を打たれ涙を拭う参加者もいました。

市では、今後も行事やイベント等の会場で、署名や募金活動を中心とした拉致問題啓発活動に取り組みます。また、この取り組みを通じて拉致被害者を必ず取り戻すという皆さん熱い想いが北朝鮮を動かし、一刻も早く拉致被害者の皆さんが帰国する日を迎えることができるよう願っています。

いが北朝鮮を動かし、一刻も早く拉致被害者の皆さんが帰国する日を迎えることができるよう願っています。



## 重富中学校吹奏楽部と陸上部が全国大会に出場

### ●11月29日 市役所本庁

名古屋国際会議場で開かれた全日本吹奏楽コンクールで銀賞を受賞した吹奏楽部と横浜市の日産スタジアムで開かれたジュニアオリンピック陸上競技大会の100mハードルに出場した園田きららさんが、市長に報告に来られました。



## 来客数6万3千人、ご当地グルメを味わう

### ●12月1日、2日 加音ホール特設会場

鹿児島での初出店を含む有名ご当地グルメ22店舗が出店する「あいらん家うまいもんフェスタ」が開催されました。

当日は、あいらん家うまいもんプロジェクト実行委員会が開発した「あいらアゴ肉ステーキ」がお披露目され、長蛇の列ができました。

参加者は、鹿児島ではなかなか味わうことのできない各地の名だたるグルメを味わいました。



## Pick Up 03 JA共済がAEDを寄贈。消防本部が貸出しを開始！

12月25日から消防本部は、自動体外式除細動器（AED）の貸出しを開始しました。このAEDは、市民の皆さんのが参加するイベントやその他の催し等において、参加者等が心肺停止状態に陥った時に備えて、イベントの主催団体等に貸し出し、市民の皆さんのが救命率の向上に役立て欲しいと、JA共済から市に寄贈されたものです。

AEDは、心肺停止を起こして倒れた人を、そこにいる人たちが、その場で使って、救うことのできる機器で、スイッチを入れると、音声メッセージなどをやるべきことを指示しながら、電気ショックを心臓に与え、正常な状態に戻す仕組みになっています。

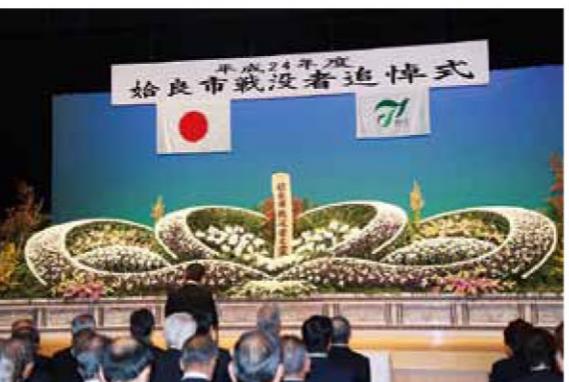
組みについては、消防本部ホームページ(<http://www.airafdf.jp/>)をご確認いただきが警防課救急救助係(TEL 63-13287)までお問い合わせください。



## 戦没者の冥福を祈る

### ●11月15日 加音ホール

姶良市戦没者追悼式が開催されました。式では、遺族を代表して坂元廣子さんが、追悼のことばを捧げました。また、参列者は献花台に菊を捧げ、戦没者の安らかな眠りを祈りました。



## 姶良の文化と芸術が秋を彩る

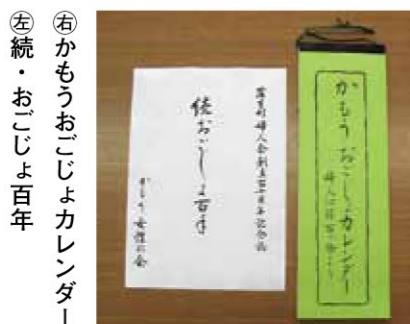
### ●12月1日、2日 加音ホール

芸術文化に親しむ市民の皆さんのが、日頃の活動の成果を発表する場として、第2回姶良市文化芸術祭が開催されました。当日は、多くの人が訪れ、芸能発表や俳句、絵画などの展示作品を堪能されました。



## Pick Up 04 祝創立110周年 かもう女性の会

### 祝創立110周年 かもう女性の会



今年、記念事業として、2月16日に蒲生公民館で記念式典が挙行される他、「おごじょ百年」（昭和57年・蒲生町婦人会発行）の続編となる記念誌「続・おごじょ」となる記念誌「続・おごじょ百年」が発行されます。また、日めくり「かもうおごじょカレンダー」も同時に出版されます。これは、明治期にあって、女性として、母親としてあるべき姿が綴られた「婦人心得百ヶ条」（昭和60年・蒲生町婦人会発行）の中から抜粋された教訓を、一日一言として暦に刻んだもので、オリジナルの作品に仕上げています。

「かもうおごじょカレンダー」は1部500円にて販売しています。

【問合先】蒲生公民館  
TEL 52-11771

**コオトパレット**  
photo palette



今年も「出会いを広げる」「生きがいを高める」「希望の未来をふくらませる」図書館として、読書の楽しみをお届けしていきます。

## 今月おすすめの本



### 暮しのなかの神さん仏さん

著者：岩井宏實（慶友社）

人々は心のより所として、名だたる神仏や身近な路傍の神仏を信じ、祈りを捧げてきました。どんな神仏にお参りすれば、どのようなご利益が叶えられるのかを、わかりやすく解説します。



### 願いがかなう小さな神様 にほんのお守り

著者：中津川昌弘文、広田千悦子 絵（徳間書店）

おはらい、開運、縁結び、願掛け。いつもあなたをあと押ししてくれる「小さな神様」。

お守りの使い方や由来、日常でご利益をいただくためのアイデアや楽しみ方を紹介します。



### 日本の神話 第1巻～第6巻

著者：赤羽末吉（あかね書房）

第1巻は国生みの話。伊邪那岐・伊邪那美の二人が日本の島々を生んだ話、死んだ妻を恋うて伊邪那岐が黄泉の国へ赴く話など。2巻以降は、「あまのいわと」「やまたのおろち」「いなばのしろうさぎ」「すさのとおおくにぬし」「うみさちやまさち」。



### しばわんこの和のこころ

著者：川浦良枝 絵と文（白泉社）

今日本に古くから伝わる和の作法や暮らしを、柴犬の「しばわんこ」がユーモラスに教えてくれる絵本。

## 新着図書の紹介



### ●児童書

- ・ミクロの世界大研究 顕微鏡でびっくり！／阿達直樹
- ・みんなに知らせる／宮川健郎
- ・どっかんだいこん／いわさゆうこ
- ・おかあさんだもの／サトシン
- ・ねずみのオスカーとはるのおりもの／リリアン・ホーバン
- ・冬ってどんなところなの？／工藤ノリ子
- ・小さな命とあっちこっち 古道具本なら堂／楠 章子
- ・インヘリタンス／クリストファー・パオリーニ

### ●一般書

- ・八重の桜1／山本むつみ
- ・人生の旅をゆく／よしもとばなな
- ・卑怯を映す鏡／藤原正彦
- ・手から手へ／池井昌樹
- ・日本型リーダーは、なぜ失敗するのか／半藤一利
- ・趣味力／秋元 康
- ・夢追い漫画家60年 いつも明日見て／藤子不二雄A
- ・もっとたっぷり！やさい流／有元葉子

## 2月のおはなし会日程

期 日	館 名	場 所	時 間
2日	土 中央図書館	おはなしコーナー	午後3時～
8日	金 中央図書館	研修室（おはなしだっこ会）	午前11時～
9日	土 加治木図書館	おはなしコーナー	午前10時30分～
16日	土 中央図書館	おはなしコーナー	午後3時～

絵本の読み聞かせなどを行っています。  
どなたでも参加できますので、お気軽にお越しください。

## 2月の映画会日程（中央図書館）

**水曜名画座** 毎週水曜日 午後2時～  
毎週土曜日 再上映 午前10時～

2日(土) 逃亡者  
6日(火)・9日(土) グランド・ホテル  
13日(火)・16日(土) ポストマン  
20日(火)・23日(土) マディソン郡の橋  
27日(火)・3月2日(土) アンナ・クリスティ

**親子映画会** 毎週土曜日 午後2時～  
毎週日曜日 午前11時～、午後2時～

2日(土) ポリス・アカデミー  
3日(日) トムとジェリー  
9日(土) 銀河鉄道の夜  
10日(日) ウルトラセブン  
16日(土) チルビーレモン  
17日(日) スプーンおばさん  
23日(土) ポパイ  
24日(日) スプーンおばさん

## 2月の休館日

中央図書館……………4日(月)、12日(火) 振替休日、18日(月)、25日(月)、28日(木) 資料整理日  
加治木図書館……………1月28日(月)～2月5日(火) 特別整理期間、11日(月) 建国記念の日、18日(月)、25日(月)、28日(木) 資料整理日  
蒲生公民館図書室………4日(月)、11日(月) 建国記念の日、18日(月)、25日(月)

〈問合先〉 ●中央図書館 Tel64-5600 ●加治木図書館 Tel62-2605 ●蒲生公民館図書室 Tel52-1771

## スターランドAIRA 開館20周年記念講演



## 「宇宙からのメッセージ」

講師／山崎直子氏（宇宙飛行士）

日 時／2月24日（日）午後1時開場 午後1時30分開演

場 所／姶良市文化会館 加音ホール

その他／・どなたでも聴講できますが、参加人数によっては入場できない場合があります。予めご了承ください。  
・当日受付のみとし、会場にて午後1時から受付します。  
・記念講演は、生涯学習推進大会のプログラムとして実施します。



宇宙飛行士 山崎 直子 (やまざき なおこ)

### ●講師プロフィール

2010年4月スペースシャトル「ディスカバリー号」に搭乗。国際宇宙ステーションに2週間滞在し、無事任務を終え帰還。  
2011年にJAXAを退職。これまでの貴重な体験を基に、幼い頃からの夢を実現するに至った道のり、地球のすばらしさ、これから先の人間と宇宙の関係などのテーマで講演。



シリウス

↓カノープス

桜島

★カノープスの  
南中時刻  
1月中旬：午後11時ごろ  
2月上旬：午後10時ごろ  
2月中旬：午後9時ごろ

〈問合先〉 スターランドAIRA Tel68-0688

# 男女共同参画の視点

あなたがいる わたしがいる 未来がある

(平成24年度男女共同参画標語)

## 男性にとっての男女共同参画

男女共同参画社会の実現の大好きな障害の一つは、人々の意識の中に長い時間をかけて形作られてきた性別に基づく固定的性別役割分担意識です。このような意識は時代とともに変わりつつあるものの、依然として根強く残っています。特に男性により強く残っています。女性が「固定的性別役割分担意識」によって社会進出を阻まれきた、ということをよく言われま

すが、男性も「男は仕事」、「男は強くなければならぬ」など、性別による役割の固定化を受けてきたと言えます。

男女ともに仕事と生活が調和する社会を目指し、働き方の見直しなど男性が育児や介護、地域活動等に参画できるよう男性自身の男性に関する固定的性別役割分担意識の解消が必要です。

## 子どもにとっての男女共同参画

次代を担う子どもたちが、健やかに、そして、個性と能力を發揮できるよう育っていくために、子どものころから男女共同参画を理解し、将来を見通した自己形成ができることが重要です。そのため、

男女が相互の人格を尊重し、相手の立場を理解し助けあうような人間形成をはかり、その健康状態や性差に応じて適切に自己管理ができるよう子どものころからの教育を進めることができます。

## ★地域みんなで、子どもを見守ろう

### オレンジリボン運動とは

- 身体的虐待
- 心理的虐待
- 性的虐待
- ネグレスト 放置 養育の放棄

★オレンジリボンには「子どもの虐待を防止する」というメッセージが込められています。



制作：はやと草の根会  
協力：隼人工業高等学校美術部



相談場所	相談日	相談時間(電話または面接)	電話番号
市役所本庁	月～金曜日	午前9時～午後4時	66-3111・相談専用 66-3182
加治木総合支所	毎週火曜日	(祝日は休み)	62-2111・相談専用 62-2230
蒲生公民館	毎週木曜日		52-1771

〈問合先〉企画政策課 男女共同参画係 Tel66-3111 (内線241)

# 住宅賃貸借契約トラブル

部屋を借りる場合には、貸主との間で住宅の賃貸借契約を結ばなければなりません。賃貸借契約は長いお付き合いですので、まずは、「契約」について基本的な知識を身につけて、トラブルを未然に防ぎましょう。

民法上契約は、貸主と借主双方の合意で成立し、双方が契約書に記名・押印した時点で、契約は成立しています。

なお、宅建業者が媒介・代理した場合、媒介業者等には契約内容を記載した書面を作成し交付することが義務付けられていますので、交付された書面は大切に保管しておきましょう。

契約時には契約書の内容を納得できるまで確認することが重要です。分からぬことや疑問に思ったことは、その場で解決しておきましょう。

## ●入居時のアドバイス

●入居時には必ず部屋の内装をチェックしよう！ 入居時には、家具を入れるまでに部屋全体をチェックし、もともとキズや汚れがあるかどうかを貸主や立ち会った宅建業者と確認しておきましょう。もし発見したら、入居後に自分がつけたものでないことを証明するために写真を撮っておくのも対処の1つです。そうすることで、退去時のトラブルを防ぐことができます。

●トラブルを防止するには 契約書・重要事項説明書を読み、原状回復に関する借主負担について確認し、過剰な借主負担がある場合は、契約条項の変更を求めましょう。



〈問合先〉消費生活センター Tel66-3111 (内線157)

# わかりやすい健康講座

## 感染症対策はお済みですか？

### インフルエンザ流行 これからが本番 ~かぜとは違う全身症状に注意~

インフルエンザは、ウイルスを持った人の咳やくしゃみなどで、空気中に広がったウイルスを吸い込むことによって感染します。普通のかぜと違い39℃以上の発熱や関節痛などの全身症状を伴います。また、気管支炎や肺炎を併発し、重症化することが多いのも特徴です。

インフルエンザは、毎年初冬から春先にかけて流行する傾向にあります。最近では季節に関わらず発生していますので、一年を通して注意が必要です。現在、香港A型が多く検出されています。

### ◆予防接種と衛生習慣でしっかり予防

事前に予防接種を受けておくことも対策のひとつです。予防接種は有効な予防手段ですが、予防接種を受けていてもインフルエンザにかかることがあります。家族全員で基本的な衛生習慣をしっかりと身につけることが大切です。

- ①うがい・手洗いの励行
- ②必要時以外は人ごみを避けてマスクの使用を心がけましょう
- ③バランス良い食事を取りましょう 十分な栄養を取りましょう
- ④生活リズムを整えましょう
- ⑤室内を乾燥させないようにしましょう



### インフルエンザにかかったら・・・

- ①早めに医療機関に受診して治療に努めましょう。普通のかぜと思い放っておくと重症化することがあります。
- ②安静にして休養をとりましょう。睡眠不足は一番の大敵です。休養をとることは自分の身体を守るだけでなく他の人にインフルエンザをうつさないという意味においても重要なことです。
- ③部屋の湿度を保ちましょう。空気が乾燥するとインフルエンザにかかりやすくなります。
- ④水分を十分に補給しましょう。お茶やジュース、スープ、お味噌汁など飲みたいもので結構です。

### 増えてます 感染性胃腸炎 県内に流行警報発令中

ノロウイルスを原因とする感染性胃腸炎が急増するシーズンを迎えます。主症状は嘔吐や下痢、発熱です。ウイルスは、回復しても数日は糞便の中に排泄されます。予防接種も有効な手段ですが、基本的な衛生習慣を身につけて、予防に努めましょう。

うがい・手洗いの励行、吐物の適正な処理、食品は十分に加熱、タオルの共用を避ける、症状があるときなどは食品の調理ができるだけ控え、やむを得ないときは素手で触らず手袋やお箸等の使用を心がけましょう。

### これから流行期 水痘（みずぼうそう）

水痘－帯状疱疹ウイルスの初感染によってひき起こされる感染症です。発疹や発熱を主症状としています。合併症（肺炎・気管支炎等）を起こすこともあるため注意が必要です。

### ◆注意が必要…他の感染症

- つつが虫病（発熱・刺し口・発疹）→農作業・森林作業・山菜採り・ハイキング等で感染。
- マイコプラズマ肺炎、A群要血性レンサ球菌咽頭炎、流行性角結膜炎 等

〈問合先〉健康増進課 健康増進係 Tel66-3111 (内線149)





## ◆2月の休日在宅医等

日(曜日)	市町名	医療機関・薬局名	診療科目	電話
	霧島市(国分)	前田産婦人科クリニック	産婦人科	46-6800
	霧島市(隼人)	吉満内科クリニック	内科	42-8880
	姶良市(加治木)	松本外科胃腸科医院	外科胃腸科	63-1911
3日 (日)	姶良市(姶良)	野元内科医院	内科	65-2015
	湧水町	林内科医院	内科小児科	75-2047
	霧島市(国分)	いぢち眼科	眼科	47-3618
	姶良市(加治木)	なかむら小児科	小児科	64-3711
	姶良市(姶良)	たき調剤薬局	—	64-5112
10日 (日)	霧島市(国分)	石塚内科	内科	45-0419
	霧島市(隼人)	さくら皮膚科	皮膚科	42-0219
	姶良市(加治木)	港町クリニック	整形理学療法科	63-9791
	姶良市(姶良)	たけうちクリニック	胃内外小児科	64-5550
	霧島市(横川)	伊東内科クリニック	内消呼吸器科	72-9088
	霧島市(隼人)	隼人福島眼科	眼科	64-2940
	霧島市(国分)	いかりこどもクリニック	小児科	48-5858
	姶良市(加治木)	ゆり調剤薬局	—	63-0133
	姶良市(姶良)	ケーアイ調剤薬局西餅田店	—	66-0453
11日 (月)	霧島市(国分)	井料クリニック	脳神経外科	46-9300
	霧島市(隼人)	森クリニック呼吸器科・内科	内呼吸器科	42-8111
	姶良市(加治木)	加治木中央クリニック	内科	63-8800
	姶良市(姶良)	よしだ内科クリニック	内消循環器科	65-1333
	湧水町	田代医院	内科循環器科	74-2075
	姶良市(加治木)	西眼科医院	眼科	62-2526
	姶良市(姶良)	こどもクリニック山崎	小児科	65-1350
	姶良市(姶良)	(有)原口中央薬局姶良店	—	66-5530
	姶良市(加治木)	かじき薬局	—	62-3492
	姶良市(姶良)	帖佐調剤薬局	—	65-8024
17日 (日)	霧島市(国分)	三輪クリニック	内科外科	73-3138
	霧島市(隼人)	はやと整形外科	整形外科	43-6111
	霧島市(溝辺)	壱岐医院	内科小児科	59-2019
	姶良市(姶良)	久永医院	内科	65-2507
	霧島市(牧園)	大庭医院	内科小児科	76-1984
	霧島市(隼人)	椎原眼科医院	眼科	43-1050
	霧島市(国分)	こうの子どもクリニック	小児科	47-1211
	姶良市(姶良)	西宮島調剤薬局	—	67-0665
24日 (日)	霧島市(国分)	宮内皮ふ科クリニック	皮膚科	46-8612
	霧島市(隼人)	まさやクリニック	内心療眼小児科	64-2750
	姶良市(加治木)	川畑内科医院	内科胃腸小児科	63-1499
	姶良市(蒲生)	原田内科	内科	52-0023
	湧水町	吉松温泉医院	内科	75-3311
	姶良市(姶良)	青雲会病院眼科	眼科	66-3080
	姶良市(加治木)	すこやかクリニック	小児科	62-0308
	姶良市(蒲生)	蒲生薬局	—	52-1101
	姶良市(加治木)	新生薬局	—	63-0115

※在宅医の診療時間は、午前9時から午後5時までです（眼科は、午前9時から午後1時まで）。

※都合により在宅医が変更になる場合がありますので、医療機関にご連絡の上、受診してください。

※在宅医の変更等については、姶良市役所へお問い合わせください。

〈問合先〉姶良市役所 Tel66-3111

### ◆歯科救急診療(日曜、祝日)

・午前9時～午後3時  
姶良郡歯科医師会館口腔保健センター（霧島市溝辺町・空港近く）  
Tel58-4388

### ◆子どもの救急電話相談(夜間)

夜間ににおけるお子さんの急な発熱、おう吐、下痢、腹痛などで分からないことがある場合は、経験豊富な看護師が応急処置や医療機関の受診の必要性などのアドバイスをいたします。

#### 【相談時間】

毎日・夜間 午後7時～11時  
TEL # 8000 (県内統一)

※ただし、ダイヤル電話、光電話及びIP電話からは  
099-254-1186

# 第11回 姉良10号美術展

応募者251人、応募点数349点の中から、次のふたが入賞されました。（敬称略）



大賞

「陽ざしの中で」  
磯口成子（姶良市）



優秀賞

「マイ・コレクションⅠ」  
山元洋子（姶良市）



優秀賞

「野菊咲くあぜの風景」  
土屋トシ子（姶良市）

※その他に特別賞4人、特選23人

#### 【表彰式】

- ・日 時／1月18日（金）午前10時から
- ・場 所／加音ホール
- ・対 象／大賞、優秀賞、特別賞、特選を受賞されたかた

#### 【展 示】

- ・日 時／1月18日(金)～2月3日(日)（1月22日、29日を除く）  
午前9時～午後5時（1月18日は、表彰式終了後に公開）
- ・場 所／加音ホール ホワイエ
- ・内 容／県内及び近隣県在住の一般成人（高校生以上）による公募展
- ・入場料／無料



生涯学習賞

「水車の音(吹上庵)」  
上田哲也（伊佐市）

〈問合先〉社会教育課内実行委員会事務局 Tel62-2111 (内線243)

入場無料

# 姶良市 まちづくりフォーラム

日時

**2月2日(土)**

午後1時20分~4時10分

場所

**姶良公民館 大ホール**

※駐車場の混雑が予想されますので、ご近所  
お説明合わせのうえご来場ください。



基調講演では、  
2008年岩手宮城内陸地震、  
2011年東日本大震災で被災。  
現在、復興支援活動を続け、  
そこから学ぶ『地域の生きる力』  
『地域づくり』についてお話をし  
ていただきます。

## 錦江湾 隨想録

“白銀坂”、近代  
に至るまでの数百

年間、街道“大口筋”的一部として、人々の暮らしを支えてきた歴史ある道で、姶良市側から登ると、美しい石畳の道が迎えてくれます。

白銀坂を取り囲む森は、錦江湾から吉野台地へと駆け上がる急斜面に構成された照葉樹の森で、豊かな森の恵みを受けたさまざまな生き物と出会うことができます。

国道10号線の脇から登っていくと、徐々に町の喧騒から森の静けさへと環境が移っていきます。やがて、キツツキの仲間の“アオゲラ”やめじロヤマドリ”など、日常はない

生き物との出会いが待っています。

白銀坂は照葉樹の森に人工的に造られた“森の縁”です。森の縁には明るい場所を好む植物が集まり、“山野草”と呼ばれる草花や樹木が季節を彩ります。この森の縁という環境が照葉樹の森に変化をもたらし、生き物との出会いの場となり、出会い生き物の種類と機会を増やしてくれます。

“森の縁”という環境は、人々が手を入れ続けてきたことで、数百年間守られてきました。そこには里山のように人が係わることで保たれる自然があります。

昭和初期、人々の生活を支える道であった白銀坂はその役割を終え、人々から忘れられていましたが、今はトレッキングを楽しむ場所として多くの人に利用されています。

NPO法人 くすの木自然館  
南尚志  
白銀坂入り口

## エッセイ 市長

### 巳の年に思う 十二支の「巳」は、本来、「し」と読むことがあります。

『漢書律曆志』では、「止む」の意味の「巳」とし、草木の生長が極限に達し、次の生命が作られる時期と解釈しています。これを「ヘビ」としたのは、庶民に十二支を浸透させるため、動物の名前があてられたようです。そんな「巳年」が明けました。

昨年は、依然として政治経済は混沌を続け、年末に行われた総選挙で、政権が交代することになりました。基礎自治体の姶良市として、山積する課題にどう対応していくか、国の動向をしっかりと見極めていく必要があります。

ところで、一昨年3月11日に発生した東日本大震災は、我が国の観測史上最大級で、一原子力発電所の事故が重なりました。発災からやがて2年が経過しています。一日も早い復旧・復興を願っていますが、私たちが東日本大震災から学ぶべきことは、想定外に備えるということです。

現代に暮らす私たちは、19世紀の産業革命を経て、自然科学に基づく科学技術の飛躍的な進歩によって、史上まれなる豊かで快適な生活を手に入れました。

利用の目的が変化しても、その時代の人々に必要とされ、守られ、私たちが生きているこの時代の白銀坂が次の世代にも語られていく…。

いつまでもそんな歴史の道であって欲しいと、白銀坂を登るたびに想います。

笠山 義弘

御が極めて困難なリスクをはらんでいたのです。このことは、一つに地球温暖化による気候変動として現れています。また、事故原因がいままだ明確になつていませんが、原子力発電所事故による放射能汚染は、制御が極めて困難なりスクの象徴的なものだと考えています。

経済的な豊かさの追求によって、社会基盤の整備・充実が図られ、私たちには、いわゆる暮らしやすさを享受してきました。

最近、ブータン王国のGNH（国民総幸福量）に関する本が売れているそうです。ブータン王国は、中国とインドに挟まれたヒマラヤの小国です。GNHは、GNP（国民総生産）重視の経済発展政策に疑問を投げかける概念として、注目されているのです。幸福感は、何によつて満たされるのでしょうか。

かつて、冬は寒く、夏は暑かつた。その中で春を待ち、往く秋を惜しむ心は豊かでした。美しい四季の移ろいの中で、凛然とした日常がありました。また、健康で清貧を尊ぶ生活がありました。そんな日々を取り戻すべきだと思っています。「豊かさ」とは、本来、心の様相を表す言葉です。これからも、市民の皆さんのが眞の豊かさを実感できるよう、心の通り合う市政を行わなければなりません。

これからも、市民の皆さんのが眞の豊かさを実感できるよう、心の通り合う市政を行わなければなりません。

### 市民活動事例発表

#### 【今後のまちづくりについての提案】

- ・まちづくりリーダー養成塾 勉生

#### 【企画提案型まちづくり助成事業報告】

- |                 |               |
|-----------------|---------------|
| ・思川水系美化・浄化対策委員会 | ・かぢき披露芽隊      |
| ・介護相談所 癒しの家     | ・子どもサミット実行委員会 |
| ・NPO姶良          | ・NPO法人くすの木自然館 |



### 基調講演

#### 演題『震災によって試された人と地域の“生きる力”』

～くりこま高原自然学校が取り組む自然教育と震災復興と地域づくり～

講師 佐々木豊志氏（一般社団法人くりこま高原自然学校 代表理事）

〈問合先〉企画政策課地域政策係 Tel66-3111（内線242）